

## 尊い命が失われました

7月の蒸し暑い日の午後、悲劇は起こりました。

いつも明るい10歳の男の子。

朝、元気よく登校した彼は、プールやソフトボールで楽しい時間を過ごしました。

放課後、いつも通り小学校の門を出て、仲良しの友達と、自宅までの約2.5kmの道のりを歩いて帰宅中でした。

緑あふれる自然豊かな田園地帯を県道へ抜ける道。通り慣れたいつもの道。

自宅まではあと少し。道幅が少し狭くなった右カーブ、歩道はありませんでした。

少し疲れていたのでしょうか。道路の左側、友達の前を歩いていた彼が、少し右側によろけ……。

突然、「ドスン」という衝撃音。……彼は友達目の前から消えました。

後ろから走ってきた軽四乗用車にはねられてしまったのです。

彼は目を覚まさぬまま二晩。

ご両親、ご家族の祈りは届かず、事故から67時間後、わずか10年の短い生涯を終えました。

ご両親の悲しみはいかばかりか……。

皆さん想像してみてください。

あなたの大切な人が突然奪われる悲しみを。

大切な人から宝物を奪ってしまう恐ろしさを。

交通事故をなくすため、あなたに何かができるかを。

7月11日 午後4時50分 東広島市内で発生。



夏休みに入ると子どもたちが外で遊ぶ機会も増えます。

細い路地や交差点、駐車場内は特に注意が必要です。

歩行者の側方通過時には、十分な距離を保ち、その動静に十分注意しましょう。